

No.257



—自然のぬくもりと暮らしたくて—

JAだより



謹賀新年



令和8年 新春のご挨拶

しずない農業協同組合 会長理事 西村 和夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、御家族とともにご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当組合の事業運営に対し、ご協力とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

国内におきましては、昨年は一昨年より続く主食用米の価格高騰が止まらず、政府は2月より備蓄米を21万トン、5月からは随意契約による30万トンを放出し、主食用米の価格安定対策を行ってきましたが、11月末時点においても5kg当たり4千円を超える価格が続いております。

海外に目を向けますと、1月より米国におきまして、第2次トランプ政権の発足から輸入品に係る様々な関税の導入、高市政権下の台湾有事を巡る国会答弁から日中関係の悪化などと、激動と転換の1年でした。

また、我々JAグループにおきましては農政活動の重要性が高まる中、7月の参議院選挙で道北なよろ農協の東野ひでき氏が皆さまのご支援のもと見事当選を果たしました。地域の実情に根ざした政策づくりが進み、農業現場の課題解決につながることを大いに期待しております。

昨年の農作物の状況としまして、当組合の基幹作物の1つであるミニトマトについては、昨今の気温の高さから、促成作から抑制作への植え替えの時期を前倒しする方が多く、猛暑が続く8・9月をより成長した状態で迎えることが出来たことから、花落ちが比較的少なく、抑制作が昨年と比較し収量増となっております。なお、単価についても昨年よりもさらに良く、

取扱金額は9億6千万円となり、青果全体では10億3千万円となりました。

なお、本年は1組の新規就農者の参入が予定されております。

水稲は日高管内の作況指数で101の「平年並み」でありました。昨年の平均気温は平年よりかなり高く、日照時間も長かったことから、水稲の生育は平年より1週間程度早く進み、収量は平年並みでありましたが、胴割れを始めたとする被害粒も少なく、低蛋白で高品質な米を出荷することが出来ました。令和7年産万馬券については1883俵を買い入れ、しずない農業まつり以降からAコープ静内店にて店頭販売を開始し、業務向け納品を中心に新規取引の注文が集まっております。

また、上川大雪酒造で仕込んである地酒「静内彗星」海桜丸は、6年目を迎えております。静内産米の品質の高さから、毎年「飲まざる酒」に出来上がっております。ピーターが増えております。

本年も4月末頃の販売を予定しておりますので、その出来栄を味わっていただきたいと思います。

黒毛和牛については、ホクレン南北海道市場の素牛平均購買価格は去勢で75万円、メスで62万円と、

前年比較で14万円程度の高値で推移しており、当組合の年間の販売金額は4億8千万円程度と前年の4億2千万円程度より6千万円増加しております。7月には中国への24年ぶりとなる日本産牛肉の輸出が再開されるとの話もありましたが、その後の日中関係の悪化もあり、市場動向については一段と注視が必要だと思われます。このような状況ではありますが、今後とも購買者のニーズに答え、より良い素牛を出荷できるよう高齢牛の淘汰更新を積極的に進め、優良母系牛群の形成を進めていきます。

また、酪農については夏の猛暑の影響も懸念されましたが、静内全体の乳量は、ほぼ計画通りで推移しており、販売金額は3億3千万円の取扱い実績でした。ホルスタインや交雑種の初生子牛につきましては引き続き安価な状況が続いております。

基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数及び販売金額が、444頭、74億3千万円で一昨年より販売頭数が39頭の減少、販売金額が2億4千万円の増加となり、平均販売価格は185万円増加の1673万円となりました。昨年10月に日経平均株価は5万円の節目を突破し、良好な

企業成績を背景に市場は非常に活気に満ちております。総売上は昨年に引き続き良好で190億円に迫る結果でありました。

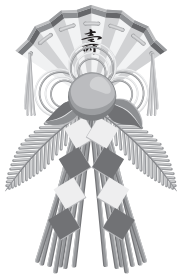
また、昨年の重賞レースでは4月29日、大井競馬場で開催された「第70回羽田盃」、6月11日、同じく大井競馬場で開催された「東京ダービー」で(有)グランド牧場生産のナチュラルライズ号、5月5日、船橋競馬場で開催された「第37回かしわ記念」、6月25日、浦和競馬場で開催された「第29回きたま杯」で岡田スタッド生産のシャマル号、5月11日、東京競馬場で開催された「第30回NHKマイルカップ」で(株)チャンピオンズファーム生産のパンジャタワ号、9月29日に中山競馬場で開催された「第59回スプリンターズステークス」で(有)コスモヴェーフาร์ม生産のウインカーネリアン号、11月3日に船橋競馬場で開催された「第25回JBCスプリント」で(有)谷岡牧場生産のフアンヒル号がそれぞれG1勝利を挙げました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

例年10月に開催されていたはずない農業まつりは昨年同様、新ひだか町公民館での開催を企画し、当日は悪天候ではありましたが、

多くのお客様が来場し各種イベントで大いに賑わいを見せました。また、青年部は例年10月にハロウィン2025を開催し、1000人近い来場者数で盛り上がりを見せました。なお、他の青年部活動につきましても6月上旬から6月中旬にかけて、新ひだか町の小学校2校と静内保育所を訪れ、定植体験授業、選果場見学、圃場見学を行い、ミニトマト産地ならではの取組みにより子供たちに学べる環境を作ることが出来ました。

最後に、昨年は令和6年度に策定した農業振興5カ年計画の最初の年度となっており、大変厳しい農業情勢にありますが、組合員皆様が力強い農業経営の実現に向け当JAとしましても努力して参りますのでこれまでと変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年であり、ますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



謹んで新年のご祝詞を申し上げます

会長理事

西村 和夫

代表理事組合長

藤村 英治

理事

山口 修二

谷岡 康成

田中 裕之

小池 孝義

帰山 諭

理事兼参事

大滝 康正

代表監事

渡辺 隆

監事

姥谷 秀樹

金融部長

竹内 章浩

営農部長

木口 雄一

経済部長

丹野 潤一

外職員一同



令和8年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会代表理事会長 樽井 功



新年あけましておめでとうございませう

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、

春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政

運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



新年のご挨拶と農業への展望

日高農業改良普及センター 所長 須田 耕



新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より普及センターの取り組みに深いご理解とご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

■気象と向き合い、成果をつかんだ一年

昨年は、春の長雨、夏の異常高温、秋の強風や降雨など、まさに「気象に試された一年」でした。それでも皆様は、ほ場の状態が思いどおりにならない中でも作業を進め、厳しい暑さに耐えた作物を細やかな管理で支え、技術と経験

で数々の壁を乗り越えてくださいました。

水稻では、高温で生育が前倒しになり、降雨や強風による倒伏も見られましたが、作況指数101という結果をつかみ取りました。高温にさらされながらも品質が保たれたのは、毎日の水管理、ほ場の観察、迅速な判断・・・そのすべてが積み重なった成果です。

ミニトマトでも、曇天による徒長や夏の花飛びなど、厳しさが続きましたが、皆様の粘り強い対応によって出荷量は例年並みからやや多い水準に達しました。

畜産や牧草生産でも、高温やコスト高の中で安定的な生産を続けていただいたことは、地域農業の底力を改めて実感するものでした。

こうして振り返ると、昨年の新ひだか町農業は「厳しい中でもしっかりと成果を残した一年」です。この地域には、自然の変化に正面から向き合い、諦めずに挑み続ける農家の力があります。その姿に、普及センターとして心から敬意を表したいと思います。

■見えてきた課題
厳しい一年は課題を浮き彫りにしました。

ミニトマトでは生育後半の斑点病や土壌病害が収量と品質を押し下げ、抑制作型では定植時の高温による樹勢低下が避けられませんでした。

畜産でも、高温が採食や受胎に影響し分娩間隔が長期化するなど、経営の不安定要因となっています。そして何より、気象災害の頻発

は地域農業の大きな脅威となっています。昨年は強風でビニールハウスが破損し、降雨では場に水が入り込む被害が発生しました。「温暖化時代の農業」を生き抜くためには、災害に耐えうるほ場づくり、透排水性の改善、そして万が一に備える共済への加入が、これまでに以上に大きな意味を持ちます。

また、新ひだか町では新規参入者が増え、地域農業の新しい担い手として希望を与えてくれていますが、資材費の高騰はその歩みを脅かしつつあり、関係機関が力を合わせて支えなければ、地域全体の活力にも影響しかねません。

■普及センターが果たす役割
普及センターは、今年も皆様とともに歩む覚悟です。

水稻では、JAしずない稲作振

興会との連携により、特別栽培によるブランド米の維持拡大を支援していきます。

ミニトマトでは、暑熱に負けない栽培体系の再構築と、より確実な病害虫防除への確立を、JAしずないミニトマト部会とともに取り組んでいきます。

畜産では、静内和牛改良組合と力を合わせ、飼養管理の改善を図るとともに、自給飼料の安定確保に取り組みます。

また、新規参入者一人ひとりがこの地域で腰を据えて営農を続けられるよう、関係機関と協力しながら経営安定のための支援を一層強化してまいります。

■結びに
私たちが取り組む全ては、新ひだか町の農業を未来につなぐためのものであります。どんな気象条件でもしなやかに対応できる「強い農業」づくりに向けて、今年も現場と共に歩み続けます。

■結びに
本年が皆様にとって、健康で実り多く、希望あふれる一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。ともに新ひだか町農業の未来を創っていただけることを、心から楽しみにしております。

本年もどうぞよろしく願っています。

新年を迎えて

J Aしずない女性部 部長 曾 我 順 子



令和8年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎え頂いてでしょうか。

私は11月の末より風邪をひき、部員の皆様には多大なるご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。行事も2つ程欠席し、その間事務局や部員の皆様に大変お世話になりました。

昨年は主食米の不足から令和の米騒動、物価の高騰、世界規模の洪水、山火事、地震、そして長引く戦争と暗く厳しい日々でありました。その中でも女性部として様々な活動を行ってきました。

まず、9月には当女性部で6ヶ年振りの1泊2日の小樽・余市方

面の研修旅行を開催し、各道の駅への訪問や地酒「海桜丸」と同じ酒米「彗星」を使用している酒蔵「田中酒造 亀甲蔵」を見学し、女性部らしく大いに楽しみながら研修をしてきました。11月には全道家の光大会が2年後に改装予定のパークホテルで開催され、他各地の女性部との交流が出来、かけがえのないひとときとなりました。

今年も様々な出来事があるかと思いますが、恐れず、あきらめず、一人一人が協力し難問を解決し、乗り越えていけるよう心よりご祈念し、年始の挨拶とさせていただきます。

最後に、ある医師の独り言で、健康と認知症予防に「家事」という頼れる一手という記事がありましたので記させていただきます。料理・掃除・洗濯がお金もかからず効果があるというのです。ぜひ試してみようと思います。人の役に立てることも効果があるという事です。

地域の絆とともに迎える新春

J Aしずない青年部 部長 小久江 正樹



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は一昨年から続く所謂「令和の米騒動」で価格安定対策として政府備蓄米が放出されるも、価格は未だに高値が続いている状態にあり、政策の不透明さから、今後の主食米の価格動向を不安視する声も聞かれています。

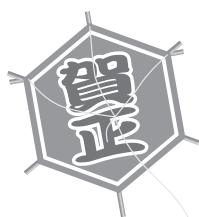
また、ここ数年は円安もあり肥料や資材の価格も高騰が続き、農家経営を圧迫している状況が続いております。

このような状況下においても、より良い営農が出来るようにと、近隣地区の青年部と共に合同勉強

会を開催し、意見、情報交換を行っております。今年度はJ Aびらとり青年部、J A門別青年部と行い、部員の糧になったかと思えます。これからも、お互いに切磋琢磨出来るような活動が続くことを願います。

他には管内2小学校、保育所を訪問した食育出前授業、J Aしずないの一大イベント「しずない農業まつり」、当青年部と新ひだか町教育委員会との共催イベントである「ハロウィン」を行いました。日胆青年部協議会主催である大学生の農作業体験への協力については2回受け入れを行い、当青年部員並びに各関係機関の皆様のご尽力のお陰で素晴らしいものとなりました。

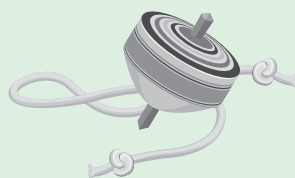
最後に、J A組合員の皆様をはじめ、各関係機関の方々のご多幸をお祈り致しますと共に、本年もご厚誼の程、よろしくお願い申し上げます。



理事會報告

11月理事会(26日)

1. 令和7年度地域づくり総合交付金事業(施設機械リース)について
2. 令和7年度農業予算関係(案)について
 - ① 生産組織育成事業
 - ② 特別栽培米良食味生産安定対策事業
 - ③ 特別栽培米生産支援消費拡大促進事業
 - ④ 花卉野菜生産体制強化対策事業
 - ⑤ 施設園芸作物土づくり支援事業
 - ⑥ 黒毛和牛生産基盤確保支援事業
 - ⑦ 自給粗飼料生産基盤確保支援事業
3. 令和7年度体重計等計測機器導入補助事業(案)について
4. 令和7年度軽種馬生産基盤整備対策(特認機械リース)事業(案)について
5. 農業協同組合検査指摘事項に係る改善・対応状況等報告について
6. 営農支援対策(案)について
7. 年末手当の支給について



JAへの就職希望者100%就職内定

(令和7年度実績)

令和8年度入学生第3回募集

- 定員40名 ● 男女共学 ● 1カ年 ● 寮完備(個室)/通学も可
- 受験資格: 満27歳未満(令和7年4月1日現在)/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日: 令和8年2月15日(日)
- 願書受付: 令和8年1月6日(火)～1月23日(金) 消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校



一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 **【JAカレッジ】で検索**





年末・年始業務日程

区 分	12月			1 月							
	29日 (月)	30日 (火)	31日 (水)	1日 (木)	2日 (金)	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	6日 (火)	7日 (水)	
下記以外の業	平常営業 8:30～17:00	短縮営業 8:30～15:00	休 業						平常営業 8:30～17:00	平常営業 8:30～17:00	
金 融 店 舗	平常営業 8:30～15:00	平常営業 8:30～15:00							平常営業 8:30～15:00	平常営業 8:30～15:00	
※ATM 本 所	ATM 8:30～17:00	ATM 8:30～15:00	 JA自動車共済の安心サービス  ご契約のお車の事故については フリーダイヤル 0120-258-931 ✔ 夜間休日現場急行サービス ✔ 休日契約者面談サービス ✔ 夜間休日初期対応サービス  ご契約のお車の レッカー・ロードサービスについては フリーダイヤル 0120-063-931						ATM 8:30～17:00	ATM 8:30～17:00	ATM 8:30～17:00
※ATM 豊 畑	ATM 8:30～17:00								ATM 8:30～17:00	ATM 8:30～17:00	
Aコープしずない店 資材センター	平常営業 8:30～17:00	短縮営業 8:30～15:00 〔本所給油所 7:30～15:00〕							平常営業 8:30～17:00	平常営業 8:30～17:00	
本所給油所	平常営業 7:30～18:00								平常営業 7:30～18:00	短縮営業 7:30～17:00	
豊畑給油所	平常営業 8:30～17:00								平常営業 8:30～17:00	平常営業 8:30～17:00	
東静内給油所	平常営業 8:30～17:00								平常営業 8:30～17:00	平常営業 8:30～17:00	
※日高中部農協 機械センター	休 業 12月27日(土)～1月6日(火) TEL 0146-42-7051								平常営業 9:00～17:00		

令和 8 年 地区別懇談会日程表

令和 8 年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。
組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

月 日	時 間	農 事 組 合 名	会 場
1月26日 (月)	午後1時30分 ~午後4時00分	春 立 ・ 東別一 ・ 東別二 ・ 東別三	東西生活館
	午後5時30分 ~午後8時00分	浦 和 ・ あざみ ・ 東静内 ・ あけぼの ・ 川合一 川合二 ・ 川合三 ・ 西川一 ・ 西川二 ・ 西川三	ふれあい 生 活 館
1月27日 (火)	午後5時30分 ~午後8時00分	御 園 ・ 農 屋 ・ 豊畑一 ・ 豊畑二 ・ 豊畑三 上豊畑 ・ 豊畑振興	豊畑生活館
1月28日 (水)	午後5時30分 ~午後8時00分	静内一 ・ 駒 場 ・ 中野一 ・ 中野二 ・ 神 森 昭 和 ・ 真 歌 ・ 有勢内 ・ 目 名 ・ 田 原 田原高台 ・ 桔 梗 ・ 親 和	生産連ビル 3 F

※ご自身の地区で都合のつかない方は、ご都合のつく地区でのご出席をお願い致します。